

板橋区資源環境部 環境教育係とSOEの協働で実施

板橋区立中央図書館ホール◎8月5日

## 参加型展示「30年後の板橋を考えよう」

### 環境協働講座「紙のかざぐるまで電気を起こせるかな」



真夏の日差しが照りける日、参加型展示と環境講座を板橋区資源環境部 環境教育係と SOE の協働で開催、午前は環境協働講座「紙のかざぐるまで電気をおこせるかな」が行われました。広報で抽選募集した小学生 20人が三密を避け、参加しました。みんな生き生き、室内、公園内、両方で活動、思い切り楽しんでいました。

続いて午後からは、参加型展示「30年後の板橋を考えよう!」をテーマに、「2050年の板橋～夢・希望」「今の課題」「わたしたちができる事」の三つのパネルに、見に来た人たちがそれぞれ、思い（上記写真）を書いてくれました。



参加者の  
夢希望メッセージ  
「日本一  
住みやすい区へ」



発電モーターの軸に、紙で作ったかざぐるまを付けて、うちわで風を起してかざぐるまを回すと...  
モーターに付いているLEDランプが光った!

今回の講座参加者のふりかえりは次頁で。



SOE NEWS

No.176

2021.10



センスオブアース

市民による自然共生

パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動  
環境大臣表彰受賞団体



これから自分がとりくみたいこと

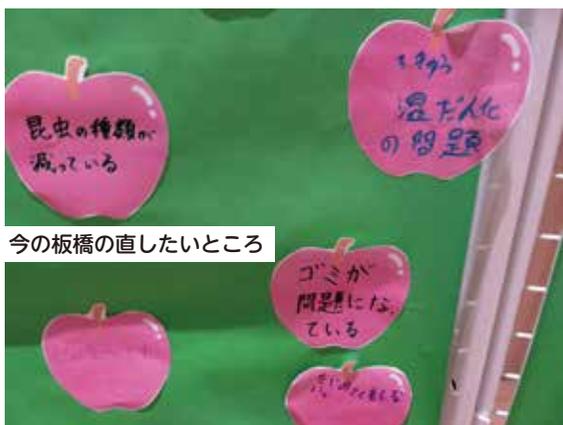
### 「紙のかざぐるまで電気を起こせるかな」 参加者のふりかえり

☺ 本当に風で電気を起こせてすごい ☺ 風は昼は海の方から地上に風が来るが、夜だと海へ地上から風を送り出しているのが驚きました ☺ 風はいいものだという事。難しかったけど光ってよかった。電気を大切に使う ☺ 風はすごくいいものだと感じた。これから風力発電機を使いたい。電気は大事に使う ☺ 風は空気だった。空気は

いったい何だろう ☺ 風がないと人間は生きていけないことが分かった。風の事が好きになった ☺ 電気をできるだけ使わないようにする ☺ 風のカだけで電気を起こせることにびっくり。使っていない場所の電気を消す ☺ 風は面白い。電気の事をもっと知りたい ☺ 風で電気を作れるなんて初めて知った ☺ 風で電気を起こせるなんて! ☺ 走っても発電できるんだな~

### 30年後の板橋(夢・希望)

30年後の板橋をこういうまちにしたい



今の板橋の直したいところ

### 参観の母親より

「子どもたちがとても楽しそうで、外に出て走っている姿がとても印象的。」

「地球には風や太陽、使っても減らない資源があること、これらを利用し、今の地球を守っていく手伝いをしたいと思った。」

「風がないと空気がなくなること、温度が100度にもなることにびっくりした。」

「今日は小さな光でしたが、もっと大きな力になった時に、どんなことができる力になるのか考えてみたい。」

「風は酸素があるからこそ発生するということが驚きでした。とても勉強になった。かざぐるま一つで起こせた電気の大きさを考えると、一家族が暮らせるくらいの電気はどのくらい必要なのか。」  
「子どもは手を動かして何かを作るということで、頭に残りやすいと思うので、良い経験になったと思います。」



今の板橋の直したいところ

# 「食べものはどこから～世界地図をつくってみると～」

【食べものって、日本はどれくらい輸入していると思いますか？】

「心に強く残ったのは、地産地消という言葉です。地元で作って、地元で食べるということ」

毎年、大勢の子どもたちの申し込みで、大盛況のエコスクール。今年はコロナ禍で、1講座定員を10名に絞り込み、子どもたちにとっては、さらに厳しいものでしたが実施できてよかったです。



SOE の、「食べものはどこから」は「世界地図に、チラシの外国産を貼っていき、どの位、海外から食べ物が来ているかを、肌で感じていきます。

## 子どもたちの感想

☺マルタというとても小さな国から本マグロが来ている ☒大きい国からたくさんの食べものが送られてきている。アメリカからたくさん来ている。外国産の食べものをたくさん食べている ☺インドネシアのブラックタイガー海老を食べてみたい ☒日本の食べものもたくさんあるが、外国からの方が私たちは食べていることが分かった ☺地産地消を考えると、外国から引き取ることを少し減らした方がいい ☒どうすれば二酸化炭素を使わずに済むか、の問題があることを知った。電気自動車をもっと広めて、二酸化炭素を使わなければいいのかな ☺意外と外国産の食べものを食べていること知ったのでよかった ☒地産地消という考えをしていけば、地球温暖化を止められるかもしれない。



「食べ物ほど」  
NPO法人

# 宣言下でもとっても元気!! 風となかよし

坂下三丁目保育園  
5歳児18人◎9月7日



～こんな風にあったよ～ 「風がたつまきのようになった!」「すごい風」「涼しかった風」「きもち良い風」「車に乗った時の風」「強すぎて寒かった風」「かさが飛ばされそうになった風」「とばされそうな風」。

さあみんなで「かざぐるま」と「カミトンボ」を作って風と遊ぼう。



☺かざぐるまを回すのがたのしかった～  
☺カミトンボが高く飛んで木の葉にあたって楽しかった。

## 担任山本先生より

「作ったもので遊ぶ、実感と達成感を持つことができる内容で、時間いっぱい楽しむことができた。集中することができ、話をしっかり聞いていた。制作活動も、自分ができることは自分でいき、援助も求めることができた。風が生活の中でどのような役割があるのかということなどを知ることができた。楽しいという思いを友達と共感できた。」



カミトンボあがれ～ もっとたかく～

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp